

Fortigateシリーズの停止方法について

東京電力による計画停電の実施に伴いFortigateが停電の影響を受ける場合には、事前に正しい手順で機器の停止処理(Shutdown)を行なって頂きますようお願い致します。

◆CLIより

TELNET, SSHまたはシリアルコンソールよりCLIで機器にログインして下さい。

ログイン後、下記のコマンドで装置のshutdownを実行してください。

```
hostname # executeshutdown ←executeshutdown を実行
```

```
This operation will shutdown the system !
```

```
Do you want to continue? (y/n)y ←「y」を入力
```

```
The system is going down NOW !!
```

```
System is shutting down...
```

```
hostname #
```

```
The system is halted.
```

※VDOM を有効にしている場合は **configglobal** を実行後、上記コマンドを実施して下さい。

「The system is halted.」が表示された後(TELNET/SSHの場合はコマンド実行後約1分後)、装置背面の電源をOFFし(スイッチがある機器のみ)、電源ケーブルを抜いて下さい。

以上でCLIでの機器停止は終了です。

◆WebUIより

MR1:システム>ステータス>ダッシュボード>ユニットオペレーション

MR2:システム>ダッシュボード>Status>ユニットオペレーション

よりシャットダウンを実行して下さい。

シャットダウン実行から約1分後、装置背面の電源をOFFし(スイッチがある機器のみ)、電源ケーブルを抜いて下さい。

MR1イメージ:



MR2イメージ:



以上でWebUIでの機器停止は終了です。

【注意事項】

HAを構成している場合は同時にshutdownが実行されないため、一台ずつの実施が必要となります。